



SIOS DataKeeper Cluster Edition

v8.6.4

リリースノート

2019年4月

このドキュメントおよびその内容は SIOS Technology Corp. (旧称 SteelEye® Technology, Inc.) の所有物であり、いかなる無許可での使用および複製も禁じます。SIOS Technology Corp. はこのドキュメントの内容に関していかなる保証も行いません。また、事前の通知なくこの出版物を改訂し、本書に記載された製品に変更を加える権利を保有しています。最新のテクノロジー、コンポーネント、およびソフトウェアを使用して製品を改善するのが SIOS Technology Corp. の方針です。そのため、SIOS Technology Corp. は事前の通知なく仕様を変更する権利を保有しています。

LifeKeeper、SteelEye、および SteelEye DataKeeper は SIOS Technology Corp. の登録商標です。

本書で使用されるその他のブランド名および製品名は識別のみを目的としており、各社の商標である場合があります。

出版物の品質を維持するために、このドキュメントの正確さ、わかりやすさ、構成、および価値に関するお客様のご意見をお寄せください。

宛先:

ip@us.sios.com

Copyright © 2019

By SIOS Technology Corp.

San Mateo, CA U.S.A.

All rights reserved

目次

SIOS DataKeeper Cluster Edition	1
はじめに	1
SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能	1
.....	4
バグの修正	4
.....	4
製品定義とプラットフォーム	5
製品要件	5
ローカルセキュリティポリシーの要件	6
既知の問題	6
Windows 2019	6
Windows 2016	6
SCVMM 2012	6
Windows Server 2012	6
DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド	7

SIOS DataKeeper Cluster Edition

リリースノート

バージョン 8.6.4

(Version 8 Update 6 Maintenance 4)

重要!!

本製品をインストールまたは使用する前に、必ずこのドキュメントをお読みください!
このドキュメントには、インストール時とその前後に留意すべき重要な項目に関する情報が記載されています。

はじめに

SIOS DataKeeper Cluster Edition は最適化されたホストベースのレプリケーションソリューションとして Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Failover Clustering とシームレスに連携します。Windows Server Failover Clustering の機能である、サブネットを経由したフェイルオーバーや調整可能ハートビートパラメータにより、管理者が地理的に分散したクラスタを管理するのが容易になります。SIOS DataKeeper は、両方のバージョンの Windows Clustering を拡張するデータレプリケーション機能により、共有されないディスクの高可用性構成をサポートします。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールすると、DataKeeper ボリュームと呼ばれる新しいストレージクラスリソースタイプを使用できるようになります。この新しい SIOS DataKeeper ボリュームリソースを従来の物理ディスクの共有ストレージリソースの代わりに使用することで、マルチサイトクラスタとも呼ばれる地理的に分散したクラスタが可能になります。

SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能

機能	説明
本リリース (8.6.4) の新機能	
Windows 2019 のサポート	DataKeeper は Windows 2019 をサポートします(制限事項)
書き込みキューが上限に達したときに書き込みを遅らせます	チューニング可能な BlockWritesOnLimitReached を導入しました。これは、ミラーのキューが HighWater または ByteLimit に達した場合にミラーを一時停止して再同期状態にするのではなく、書き込みを遅らせるようにします。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.6.3 の新機能	

機能	説明
Queue Current Age (キューの現在の待ち時間)の追加	このパフォーマンスモニタのカウント値は書き込みキュー内の最も古い書き込み要求の経過時間です。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.6.2 の新機能	
SIOS iQとの統合	SIOS iQ にイベントを配信する DataKeeper Signal パッケージを追加しました。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.6.1 の新機能	
Microsoft SQL Server 2017 のサポート	DataKeeper は Microsoft SQLServer 2017をサポートします。
バージョン 8.6 の新機能	
チューニング可能な書き込みキューのバイト制限	ユーザーは、 WriteQueueByteLimitMB のレジストリ値を変更することにより、ミラーの書き込みキューに割り当て可能な最大バイト数を指定できます。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.5.1 の新機能	
Windows 2016 のサポート	DataKeeper は Windows 2016をサポートします。
VSS プロバイダー	デフォルトでは SIOS VSS プロバイダーは無効になっています。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.5 の新機能	
CHANGEMIRRORTYPE	この EMCMD コマンドを使用して、DataKeeper ジョブの一部であるミラーのミラータイプを変更します。
Microsoft SQL Server 2016 のサポート	DataKeeper は Windows SQL Server 2016 をサポートします。
ビットマップブロックサイズを変更可能	ユーザーは、BitmapBytesPerBlock レジストリの値を変更して、DataKeeper インテントログ(ビットマップ)のエントリーの実効サイズを変更できます。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.4 の新機能	
DataKeeper Volume Resource Health Check	DataKeeperボリュームリソースヘルスチェックが、元のボリュームへの到達可否を決定するようになりました。
ターゲットビットマップファイル	ターゲットの書き込みがビットマップファイルで追跡されるようになりました。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.3 の新機能	

機能	説明
DataKeeper の通知アイコン	DataKeeper の通知アイコンは、Windows の通知トレイで DataKeeper ミラーのサマリを表示します。また、DataKeeper ミラー管理のショートカットとして、使用可能です。
mirrorcleanup.cmd	このコマンドは、ローカルシステム上のみで、選択されたボリュームの残りすべてのミラーを削除します。SIOS サポートによって推奨された場合のみ実行してください。
Powershell cmdlet サポート	ジョブの作成、ミラーの作成、ジョブの削除、ミラーの削除、または DataKeeper (New-DataKeeperMirror、New-DataKeeperJob、Remove-DataKeeperMirror、Remove-DataKeeperJob、Add-DataKeeperJobPair、Get-DataKeeperVolumeInfo) で使用されるボリュームについての情報を取得するのに Powershell cmdlet が使用可能になりました。
DKHEALTHCHECK	ステータスと問題の識別ツールをサポートしました。基本のミラーステータスと問題検知のためのコマンドラインインターフェースを提供します。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン8.2.1の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン8.2の新機能	
DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソース	DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソースでは、ユーザーは、フェイルオーバークラスタのローカルボリュームをミラーの一部とすることなく使用することができます。本機能の一般的な使用例としては、既存のハードウェア上で OS のローリング・クラスタ・アップグレードを実現したり、tempdb を SQL 2008 R2 クラスタ、および、より古いバージョンのローカルストレージに移動させることも可能です。
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0 の新機能	
クラスタ外ノードへのレプリケーション	DataKeeper はフェイルオーバークラスタの外側にレプリケーションターゲットを置くことができます。
オペレーティングシステムサポート	DataKeeper は Windows 2008R2 以降の 64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。以前のバージョンの Windows または 32 ビットシステム上で実行するには、DataKeeper v7 を使用してください。
Windows 2012 R2 サポート	DataKeeper Windows 2012 R2 をサポートします。
全体的なメンテナンス	バグ修正

バグの修正

以下に、最新のバグの修正および機能強化のリストを示します。

バグ	説明
4158	DKCE はスプリットブレインを解決しません
4189	ターゲットノードで起動時間の直後にボリュームがオフラインになった場合、シャットダウン時に BSOD になる
4211	emcmd SETSNAPSHOTLOCATION コマンドはスナップショットパスを検証しません
4381	同期を完了させるために書き込みを少し遅らせます
4396	現在のノードに物理ボリュームがない状態で DataKeeper ボリュームリソースが作成されると、DKCE はエラーイベントを継続的に記録します
4420	メモリーク - 共有 ディスクがオフライン/オンラインになる
4433	チューニング可能な BlockWritesOnLimitReached を実装しました
4437	一部のロケール(日付計算)でライセンスマネージャが正しく機能しません
4440	ライセンスマネージャが無効なホストIDを誤って報告します
4441	DataKeeper からのリワインドを削除しました
4447	ミラー化されていないターゲットノードを [Possible Owners] リストから削除します
4448	共有ターゲットノードを [Possible Owners] リストから削除します
4455	セキュアブートが有効になっている Windows 2019 システムへの製品のインストールを禁止します
4458	ロック解除されたターゲットを再起動するとデータが破損する可能性があります

製品定義とプラットフォーム

製品要件

製品	オペレーティングシステム	追加ソフトウェア
サーバコンポーネント	DKCE サポートマトリックス を参照	<p>Hotfix - KB 951308</p> <p>http://support.microsoft.com/kb/951308</p> <p>Hyper-V リソースを保護する場合 Hotfix KB 958065</p> <p>http://support.microsoft.com/?id=958065</p> <p>注記: これらの Hotfix は、Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 には必要ありません。</p> <p>Microsoft Hotfix KB 2741477 は、VM をフェイルオーバークラスタに配置した後に仮想マシンに NIC を追加できるようにします(詳細は「Hyper-V ホストクラスタエラー」を参照)。</p>
ユーザーインターフェース	DKCE サポートマトリックス を参照	<p>MMC 3.0 - こちらからダウンロードしてください。</p> <p>https://download.cnet.com/Microsoft-Management-Console-3-0-for-Windows-XP-KB907265/3000-2206_4-10741230.html</p>

注記: クラスタ内のすべてのサーバで同一バージョンのWindowsと同一バージョンのDataKeeperを実行してください。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールして設定する前に、以下の設定を確認してください。

- **重要:** DataKeeper を実行するすべてのサーバでローカル管理者権限を持ったメインアカウントを使用することを推奨します。ローカルアカウントを使用している場合、ユーザ名およびパスワードは DataKeeper を実行するすべてのサーバで一致しなければなりません。これはすべてのエディションおよびすべてのプラットフォームに該当します。
- ファイル共有監視を設定してクォーラムモードマジョリティノードを変更するなど、Microsoftのベストプラクティスに従ってください。
- DataKeeperのフェイルオーバークラスタ登録は、各クラスタノードで起こる以下のイベントの60秒後に自動的に行われます。
 - DataKeeper Cluster Editionのライセンスを、各クラスタノードにインストール。
 - Windowsサーバのフェイルオーバークラスタ機能を、各サーバにインストール。
 - Windowsサーバのクラスタ設定を作成。

ローカルセキュリティポリシーの要件

Windows サーバがドメイン内でない場合で、DataKeeper サービスをローカルシステムアカウントとして実行する場合、ローカルセキュリティポリシー設定 [ネットワークアクセス: Everyone アクセス許可を匿名ユーザーに適用する] を有効にする必要があります。

既知の問題

Windows 2019

Microsoft は Windows Server 2019 で、新しいドライバー署名の制限を導入しました。UEFI BIOS のセキュアブート機能が有効になっている Windows 2019 システムは、Windows ドライバー署名のチェックが無効になっていない限り、SIOS 製品がインストールされている場合起動しません。ドライバー署名のチェックの無効化は、システムが起動するたびに対話的に実施する必要があります。Windows 2019 で SIOS 製品を使用するには、UEFI BIOS 設定でセキュアブートを無効にするか、以前の BIOS ブートローダーを使用してください。

AWS や Azure などのクラウド環境では現在セキュアブートは有効にされておらず、これが変わるとは考えられません。しかし、さまざまなクラウド環境でのセキュアブートの使用に関する状況は現在も将来的にも不確実なため、サードパーティのクラウド環境でホストされている本番環境の Windows Server 2019 ワークロードで SIOS 製品を実行することは推奨しません。

セキュアブートに関する制限は、今後の SIOS 製品リリースで解決する予定です。

Windows 2016

- [偶発的なジョブ作成の失敗](#)

SCVMM 2012

SCVMM 2012 で DataKeeper を使用する場合は、SCVMM 2012 SP1 を使用する必要があります。

Windows Server 2012

Windows Server 2012 に関連する問題および強化については、DataKeeper Cluster Edition テクニカルドキュメンテーションの「既知の問題」セクションの以下のトピックを参照してください。

- WSFC 2012 Failover Cluster Manager UI の欠陥
- WSFC 2012 の新しいファイルサーバタイプがサポートされない
- WSFC でのミラーの手動作成
- WSFC 2012 クラスタ作成デフォルト設定の問題
- WSFC 2012 ファイル共有をファイルサーバリソースに対して作成できない
- WSFC 2012 Server Manager – 不正なボリューム表示

- WSFC 2012 Server Manager – DataKeeper「ディスク」がクラスタとして表示されない
- ミラー作成時に Windows Server 2012 デフォルト情報が見つからない
- Windows Server 2012 MMC スナップインクラッシュ
- Windows Server 2012 – クラスタ化された複数のファイルサーバの役割の同時移動が DataKeeper スイッチオーバーの失敗につながる場合がある
- Windows Server 2012 iSCSI ターゲットの役割がダイナミックディスクをサポートしない
- DataKeeper で iSCSI ターゲットを使用する

DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド

SIOS DataKeeper Cluster Edition を利用するにあたって、DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイドを参照してください。